事例No.	1359
公表年度	R2
団体の属性	指定都市
団体名	福岡県北九州市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・公共施設活用 ・教育・子育て

事例種類	転用事業

事例内容・タイトル

八幡西生涯学習総合センター折尾分館移転事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き（令和２年７月）

転 用 事 業②

事業の概要

福岡県北九州市（人口96.1万人）「八幡西生涯学習総合センター折尾分館移転事業」

八幡西生涯学習総合センター折尾分館が入居している施設の解体撤去に伴い、用途廃止される予定であった近隣施設（勤労青少年ホーム）を改修し、生涯学習総合センターに転用する。

事業のポイント

- 八幡西生涯学習総合センター折尾分館の入居施設が、地区整備を理由に解体撤去されることとなったため、移転先の施設を確保する必要があった。
- そこで、勤労青少年の利用率の低下等により用途廃止される予定だった勤労青少年ホームの施設を改修し、生涯学習センターとして転用することとした。

事業実施期間：R元年度
総事業費0.6億円

転用

事業実施前



和　室



八幡西勤労青少年ホーム

事業実施後



会議室



八幡西生涯学習総合センター折尾分館



エレベーター（新設）

事業の効果

○　転用事業を活用することで、代替地の確保や新たな施設の新築等を行うことなく、施設の有効活用が可能となった。

○　また、移転先の施設について、エレベーターの設置など用途に応じた改修工事を併せて行うことで、行政サービスの質を保つことができた。